

WHO ファクトシート

マラリア

Malaria

2017 年 4 月

重要な事実

- ・マラリアは、感染した雌のハマダラ蚊に咬まれることにより人々にうつされた寄生虫によって引き起こされる、命にかかわる疾病である。
- ・2015 年には、91 の国と地域でマラリア感染が継続していた。
- ・マラリアは予防可能であり、治癒可能であるとともに、多くの地域では対策努力の積み重ねによってマラリアの疾病負担は劇的に減りつつある。
- ・2010 年から 2015 年の間に、感染リスクのある人々の間でのマラリア発症率（新規症例の割合）は世界で 21%減少した。同期間で、感染リスクのある人々の間でのマラリア死亡率は世界的に全ての年齢層で 29%、5 歳未満幼児では 35%減少した。
- ・WHO アフリカ地域は、世界のマラリアによる負担の不釣り合いに高いシェアを占める。2015 年には、マラリア症例の 90%、マラリア死亡の 92%を、この地域で占めている。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Malaria ファクトシート原文は [こちら](#)